

# 整備機器

## 新商品

東洋精器工業(株)

ブラインド式セーフティケージ  
「TD-TBi」

# 爆風を安全に誘導

る。ただ、労働安全衛生法の上で必要要件となつてゐるのは、あくまでもホイールやリングなどの飛散防止。爆風被害の防止、あるいは爆風そのものの軽減など、破裂時の爆風については言及されていないのが現状だ。

だが、太田取締役は次のように指摘する。「ホイールやリングが吹き飛び、人体を直撃する」というのは確かにイメージしやすい。

一方で破裂したときの空気が人体に損傷を与えるといふところまで

もしません。ですが、実際に爆風を受けた

車両の運転手は、その威

力を軽減させつつ安全

な方向へと誘導する

メートルと判定した。

そこで同社は発想を転換。爆風を遮断する

ため、爆破衝撃を受け

ても壊れず複数回の使

用が可能な耐久性を備

えているのも金属製だからこそだ。

ケージ側面からタイヤの状態を確認するこ

とができるのはブライ

ンド形状の特徴。タイ

ヤ引き出しユニットを

標準装備したほか、任

意の側にタイヤを傾け

ることができる着脱式

ローラーユニットをオ

リジョンで用意した。

また、太田取締役は

次のように指摘する。

「正方形のため、爆

風の排気方向を、作業

場の環境等に合わせて

90度単位で任意に変更

することが可能だ。(出

荷時は上方向への排気

诱导で組み付け)。ちな

みに、製品名に付けら

れた「i」はindu

(=誘導する)に

由来すると、太田取締

役は説明する。

製品化に至るまで、

これに表れている。

東洋精器工業(株) 庫県宝塚市、阿瀬正浩  
社長)はセーフティケージ(安全用い)の新製品として「TB-i」用ブラインド式セーフティケージ「TD-TBi」を開発した。

6月から本格販売を開始するという。同社の太田正彦取締役販売企画部長に話を聞いた。

新製品は、空気充てん作業中に万が一タイヤが破裂した場合、そのときに生じる強烈な爆風からの被害抑制を図るもの。セーフティケージに対する性能ニーズはこれまで、タイヤホイールやサイドリング、さらにはゴム片といった物体が爆発の衝撃で周囲に飛散することを防止するのを第一義としていた。

しかし近年の調査によると、破裂時の爆風で重大な被害を受けるケースが多いことが判明。現に、JATMAが先にまとめたタイヤが先にまとめたタイヤが破裂したときの爆風に実際には爆風を受けた

空気充てん作業時の事故実態調査をみても、破裂したときの爆風によって作業者が大きなダメージを受けている事例が複数件報告され

ており、その中には死亡に至ったケースもある。

セーフティケージに対する性能ニーズはこれまで、タイヤホイールやサイドリング、さらにはゴム片といった物体が爆発の衝撃で周囲に飛散することを防

止するのを第一義としていた。

しかし近年の調査によると、破裂したときの爆風によって作業者が大きなダメージを受けている

事例が複数件報告されおり、その中には死亡に至ったケースもある。

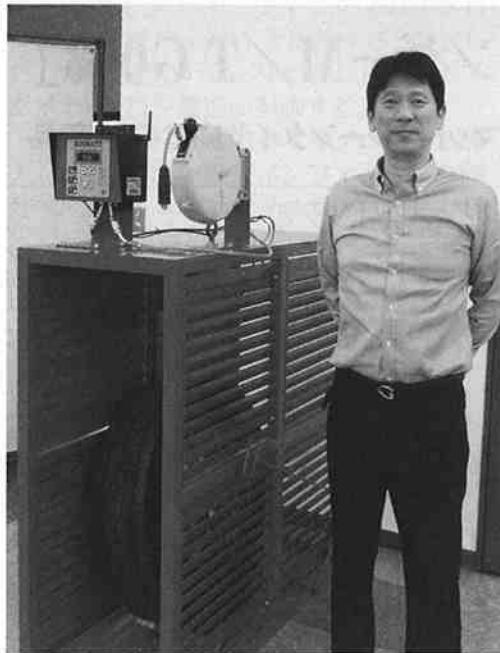
セーフティケージに対する性能ニーズはこれまで、タイヤホイールやサイドリング、さらにはゴム片といった物体が爆発の衝撃で周囲に飛散することを防

止するのを第一義としていた。

しかし近年の調査によると、破裂したときの爆風によって作業者が大きなダメージを受けている

事例が複数件報告されおり、その中には死亡に至ったケースもある。

セーフティケージに対する性能ニーズはこれまで、タイヤホイールやサイドリング、さらにはゴム片といった物体が爆発の衝撃で周囲に飛散することを防



新製品「TD-TBi」と太田取締役

「頻繁にタイヤ空気充てん講習が全国で実施されている中で、同業各社からも防風対策ケージが出揃ってきたことから、従来型に替わる、人命により安全な製品の普及へと、われわれ製品供給側の意識もシフトしていくべきときとにきにきている」

太田取締役は説明する。製品化に至るまで、

「あつたらいいな」、「誘導する」に由来すると、太田取締役は説明する。製品化に至るまで、



①ブラインドの角度が爆風を誘導する(写真は上向き)。  
②着脱式ローラーユニット。